

# 県教育委員会と県PTA連合会の合同研修会

## 平成29年8月28日(月) 於 グランデはがくれ



発行所  
佐賀市与賀町 1-24  
佐賀県PTA連合会  
☎0952-22276  
印刷 佐賀印刷社

発行責任者  
会長 江田 明弘

語り合おう！  
「家庭の日」  
(毎月第三日曜日)

県教育委員会とPTA連合会の合同研修会を開催しました。  
事前に配布した「佐賀県教育施策実施計画」を参考に県PTA理事から質問を出し、それに回答してもらい、今年度は重点項目を絞って意見交換をしました。

### テーマ

- 一部活動の在り方と今後の課題
- 学力向上と家庭学習定着のために保護者は何をすべきか。

### 【部活動の課題】

- 一部活動に対する過剰な期待
- 子供のバーンアウト過度な負荷による故障など(心身の燃え尽き症候群)
- 少子化による部員の減少と部活動運営の困難さ。

### 【課題に対する県の取り組み】

- 一部活動指導者研修会等の開催
- 幅広い指導のために外部指導者導入
- 休養日設定の通知、チーム編成の工夫

### 【意見交換の柱】

- 一部活動の理想的な在り方について
- 休日の部活動の在り方と競技力の関連
- 教職員の人事異動と部活動の関係や基本的な県教育委員会の姿勢や考え
- 社会体育の遠征などに関する経済的な面での県の体制について
- 部活動の休養日の設定について
- 合同部活動・中体連への合同参加
- 次に教育振興課より学力向上について説明がありました。学習状況調査の結果より
- 毎日宿題をする子ども
- 一 一時間以上勉強する子ども
- 二 休日に2時間以上勉強する子ども
- 三 自分で計画を立てて勉強をする子ども
- 四 ゲームをする時間が少ない子ども
- 五 ケータイやスマートフォンを利用する時間が少ない子ども等



学力状況調査の正答率が高い子どもの生活パターンが報告されました。

### 【学力向上のための県教育委員の取り組み】

- 一 先生たちの授業をより充実するための手だてを整備する。
- 二 家庭での学習方法をサポートするために「家庭学習の手引き」を全戸配布。

- ①時間や場所を決めて毎日学習をする習慣ができていますか？
- ②明日の準備を必ずその日のうちに済ませる。
- ③早く寝る、早起きする、朝ご飯をしっかり食べる。

また、早寝をサポートするために社会体育は週に2回と決めている。  
小学生は毎日夜九時に寝かせてほしい。

家庭学習の在り方や宿題の出し方についても工夫してほしい。  
市郡連と市教委でゲームやスマートフォンなどの決まりを作った例などが報告されました。

皆さんの市郡連や単位PTAでも同じような課題があると思います。教育委員会や校長先生と話し合っ課題の解決や改善に取り組んではいかがでしょうか。

### 優秀広報紙集の紹介

全国の小・中学校PTA新聞コンクールの入賞作品を紹介している「2017優秀広報紙集」がリニューアルして発売されました。新聞作成のプロから伝授される「読んでもらうためのヒント」が満載されています。今までは違う広報紙作品集となっており、より良い広報紙作成にお役立てください。



申込/日本PTA全国協議会  
一冊 ¥1296(税込)

### となりのPTAの実践 このPTAがすごい！ の紹介

PTAの数だけそれぞれの活動があります。全国52のPTAの実践事例です。活動のヒントとこれからの活動のエネルギーがもらえます。

それぞれのPTAの活動の工夫に、子ども達への愛情と、学校と地域を愛する姿があり、「すごい！」です。

申込/日本PTA全国協議会  
PTA会員特別価格  
一冊 ¥1700(税込)



## 第六十五回 日本PTA全国研究大会 第四十九回 日本PTA東北ブロック研究大会 仙台大会

### つながるPTA！ 子どもたちの輝く未来のために

### 「杠の都発！ みちのくの今を伝えたい 感謝の思いと確かな歩みとともに」

平成二十九年八月二十五日(金)～二十六日(土)



平成二十九年八月二十五日と二十六日の二日間、東北は仙台の地において、「第六十五回日本PTA全国研究大会 第四十九回日本PTA東北ブロック研究大会」が盛大に開催されました。

「つながるPTA！子どもたちの輝く未来のために」杜の都発！みちのくの今を伝えたい。感謝の思いと確かな歩みとともに」を大会スローガンに掲げ、全国から集まった会員同士が学び合い、絆を深める大会となりました。

アトラクションの「中野小太鼓」は、東日本大震災の津波によって、校舎と共に和太鼓は流されていきます。その後地域の方々の協力により、流された和太鼓が見つけた出され、破損箇所を修復され復活。総勢四〇名の力強い演奏は、「復興の和太鼓」から「感謝の和太鼓」へと変化を遂げ、参加した会場の人々へ太鼓を通じて熱いメッセージが送られました。

分科会の冒頭、震災で犠牲になられた方へ黙とうをささげ、その後、東北の現状を聞きまし

た。研究課題でもある「支援される側か



もある」支援される側か

ら支援する側へ、さらに一歩踏み出した子どもたち」にあるように、子どもたちの支援活動を支えるために、PTAとしてできる事を考える時間でした。防災教育では発達段階に応じて、災害に適切に対応する能力の基礎を培うことにより「生きる力を育む」という考え方もあるなか、子どもたちを中心に、行方被災地支援の在り方やPTAや学校はどのようにサポートしていくべきか、地域とはどのように連携していくべきか、今一度考え直す機会となりました。

二日目の全体会では、ウエイトリフティングのオリンピックメダリスト、三宅宏実氏と三宅義行氏の記念講演があり、日本オリンピック史上初となる父娘メダル達成のエピソードを披露されています。今回のサブテーマの中にある「みちのくの今を伝えたい」。

それを実際にこの目でも見たい。福島の双葉町、浪江町、南相馬市へと車を走らせました。そこで見た現実、未だ帰宅できず、誰もいない町の風景でした。今回の大会の中で皆と考えた事、この目や肌で感じた事。これからPTA活動に活かせる機会を頂き、仙台大会実行委員会の皆様へ感謝申し上げます。

県PTA副会長  
佐伯玄一郎

## ランドセル



今の子ども達とはとにかく忙しい。ランドセルを置くくどいや習い事にと休む暇もないくらい怒涛の日々を過ごしている。私の学生時代は、ランドセルを置くくどいや仲間達と近くの公園でたくたになるまで遊び、帰ってからやつの事で宿題を終わらせ寝る日々でした。

成長の中で睡眠は、重要なポイントとなる。で、今の子ども達はというと、TV・スマホ・PCに加え、塾や習い事で睡眠時間を大きく削られていると感じる。小学生の理想の睡眠時間は、低・高学年では若干異なるが、九・十時間の睡眠が良いとされている。また、成績面にも反映してくる。三・六年生の学力テスト結果の上位四十％は九時前に就寝。下位二十％は午前0時以降の就寝で九時前に寝る子どもは少ないという調査結果もあつた。皆さんも成長ホルモンの言葉を一度は耳にした事があると思

います。成長ホルモンの分泌されている時間は、午後十時～午前二時の四時間だと言われています。別名「ゴールデンタイム」このゴールデンタイムに、子ども達がよい睡眠を取る事が出来るかが鍵となることではないでしょうか。

我が家もしっかりとした生活習慣のルールを今一度見直して、子ども達の成長を見守っていききたいと思

います。

北鹿島小 P 田中 耕作



# の自慢

月日 曜日 日直

## 親子で元気、上峰小

上峰小P  
会長 川崎 啓二

上峰小学校は佐賀県東部の三養基郡上峰町にあります。町内に小学校は一校です。中学校も一校です。小中一貫校ではないですが連携をとりながら教育が進められています。

上峰小の自慢といえます。子どもも親も元気があるということ。上峰町は平成の大合併において市町村合併を行っていない単独の町ではありますが、子ども達がとにかく元気で活気があります。小学校内だけではなく社会体育の各種スポーツ、芸術、郷土芸能等さまざまな分野で励んでいます。そんな子ども達を応援するため親も積極的に関わっています。今回は親子

での取り組みの中から、二点紹介したいと思います。

一点目は、上峰小では秋にPTA主催で「上小祭」と称したイベントを開催しています。これは、子ども達に日頃培ったスポーツおよび文化芸術の発表の場を提供すること、子ども達による活動がさらに活発になって地域の魅力が向上することを目的として行っています。町内で活動する社会体育の各団体とPTAでブースを出して、各競技の良さを伝えつつゲームをしたり、ステージで演武をしたりする内容で、子ども達から大好評で競技を始めるきっかけにもなっています。

二点目は、有志の父親で構成される「おやじの会」の関わりです。夏休みには町内パトロール、体育大会では交通整理や校



内警備、親子釣り大会や門松作り等、子ども達とともに小学校生活が豊かになるように活動しています。

抽象的になりますが上峰小は親子で何かを作り上げ、楽しく有意義な時間を共有できる環境であるというところが魅力です。これからは親子で楽しみながらともに成長していきたいと思えます。

## 我が校の自慢

岩松小育

会長 狩野 公克

岩松小学校は、小城市の北部、ほたるで有名な祇園川のほとりで、天山を背にするのどかな風景の中にあります。

各学年四十名程度ですので規模は大きくない小学校です。

我が校で自慢したいことは沢山ありますが、特に自慢したいのは、時間的にも空間的にも小学校の枠を超えた人々の関わりが素晴らしいことです。

例えば、岩松小学校の運動会は「岩松小学校区大運動会」といって、学校と地区の運動会を合同で行っていて、当然小学生がいない家庭も運動会に参加し、大人だけが行う綱引きや、大人と子どもが一緒に行うリレーなどの競技があり、みんなが参加して楽しめる運動会です。

そのため、保護者以外の沢山の大人達が毎年この運動会を通

## 我が校の自慢

千代田西部小P

会長 古川 佳史

千代田西部小学校は、明治八年に私費をもつて創立された吉岡小学校に始まり、百四十二年の歴史をもつ伝統ある学校です。脊振山地を源とした城原川の西側に位置し、田んぼやクリークに囲まれ、豊かな自然に恵まれた環境の中にあります。

我が校のたくさんある自慢の中から、三つを紹介いたします。

一つめは、県内の小学校で唯一、マーチングバンド部があることです。活動の舞台は、入学式や卒業式などの学校行事、町内のお祭りなどの各種イベントの場です。演奏を聴いてくださる方々の温かい声援を糧に、毎日の厳しい練習に励んでいます。

今年度も、七月に開催された佐賀県マーチングフェスティバルにおいて、金賞受賞を果たしました。十月に開催される九州マーチングコンテストへの参加も決定し、さらに気合いの入った練習を行っています。

二つめは、地域の交通指導員や見守り隊の方々の存在です。暑い日も寒い日も、雨や雪が降っても関係なく、毎日毎日、交差点や横断歩道など、危険が予測される場所に立って、子どもたちの登下校での安全を見守ってくださっています。

三つめは、毎年各学年の役員を中心に取り組んでいる「親子ふれあい活動」です。一年生から四年生までは、春の日曜参観の時間を使って、物づくりやドッジビーなどのスポーツを行います。五年生は、秋に開催され

る「せんだん祭り」で餅つきを行い、六年生は、夏休みの「PTAデイキャンプ」で様々な活動を行います。どの学年も、日頃と違ったふれあいを楽しみ、親子の絆を深めています。

今後も、学校・保護者・地域で連携・協力し、子どもたちの健全な成長を見守っていききたいと思っています。



## 論語教育で「恕」の心を学ぶ

東原庵中央校

指導教諭 富永 千晶

「おはようございます。」

スクールバスから降りてきた一年生から六年生の声が校門前に響きわたります。その横から、自転車を引きいた七年生から九年生が登校してきます。

本校は、今年度から義務教育学校として新たなスタートを切り、九年間連続した教育実践を展開しています。

多久市には県の重要文化財である多久聖廟があります。今から約三百年前、多久茂文公により建てられました。中国の思想家孔子が祀られており、多久市では古くから論語教育が盛んでした。東原庵舎という校名もその当時、身分に関係なく志のある者が学べる邑校(ゆうこう)の名前に由来しています。

この写真は、昨年度、生徒会が企画した「縦割り班対抗論語カルタ大会」の様子です。

「学びて時に之を習う」と上の

句が読まれたら、「又説ばしからずや」と下の句のカルタが素早くとられます。同じ班の一年生から九年生までが協力して、より多くのカルタをとって競い合っています。

八年生が作ってくれた論語カルタの冊子が一年生に配られ、百の論語を覚えていきます。

三年生と五年生は、湯島聖堂公認の論語検定を受けています。毎年百パーセントに近い合格率を誇っています。

この他にも、朝や昼の校内放送で毎日、日替わりの論語が紹介され、日常に論語があふれています。

「恕」とは、思いやりの心を意味します。孔子の教えの中で最も大切にされているものの一つです。学校、家庭、地域が連携して子どもたちに論語教育を核に据えて互いを思いやる心を育てていきたいと考えています。

これからも東原庵舎の名を大切にしながら論語教育を推進していきます。

## 「いじめ防止 標語コンテスト」

PTA連合

会では児童生徒のいじめ防止を啓発する内容の標語を募集します。

募集期間

平成29年11月1日(水)～平成30年1月15日(月)

表彰など

最優秀作品入賞者は保護者と共に春休みに東京での表彰式に出席の上、表彰状・副賞(図書カード)が贈られます。

募集要項

各学校に別途お知らせします。



## 書き損じ ハガキ募集

市郡連活動費の捻出のために市郡連活動費の一助として本年度も書き損じハガキ(PTA基金)の募集をすることになりました。これは佐賀県独自の取り組みです。皆様のご協力をお願いいたします。

○募集方法

・期間 平成29年12月1日(金)～平成30年1月31日(水)

・各家庭に呼びかけ、保護者や児童生徒を通じて各単Pで回収する。(制限なし)

・各単Pで、百枚単位で輪ゴムで括り、2月15日(木)までに市郡連事務局に届ける。

・不明な点等は、県PTA事務局へお尋ねください。

☎0952-261-2276



# 我が校



## 我が校の自慢

大野原小P  
会長 峯 秀登

嬉野市の中心市街地から車で二十分、山道を登り深い山あい  
を抜けると大野原小中学校があ  
ります。夏には蛍を見ること  
ができ山林の間を茶畑が埋める人  
口約二百五十人の集落です。

小学校十九名、中学校十七名  
の少数名の学校なので野球とか  
サッカーとか人数が必要なスポ  
ーツができません。そのため少  
人数でもできるスポーツを頑張  
ろうということで三十年ほど前

## マーチングへの挑戦

伊万里中P  
会長 末次健太郎

迫力ある金管楽器のメロディ。  
木管楽器の美しい音色。テンポ  
を刻みながら音楽を盛り上げる  
打楽器。それらが見事に組み合  
わさり、美しいハーモニーを奏  
でるのが吹奏楽の魅力です。通  
常は座って演奏しますが、演技  
を加え、歩きながら音楽を演奏  
するのがマーチング。歩きなが  
らの演奏だけでも難しいのです  
が、周りの人に合わせて動くの  
はもっと大変です。このマーチ  
ングを六年前から部活動に取り  
入れたのが伊万里中学校の吹奏  
楽部です。四月から新しく着任  
された先生の指導を受けながら、  
七年目の活動に挑戦しています。  
そのマーチングには二種類あ  
り、決められた演技を盛り込ま  
なければならぬ規定部門と、  
楽器だけでなく、旗や飾りを使  
って演技するカラーガードを加  
えた自由部門の大会があります。  
九月十八日に行われた規定部門  
の佐賀県大会では、惜しくも銀  
賞となり、九州大会に進むこと



はできませんでした。部員も保  
護者も大変落ち込みましたが、  
十月二十九日に鹿児島県で開催  
された自由部門の九州予選にて  
見事金賞を受賞し、全国大会へ  
の推薦枠を獲得することができ  
ました。  
佐賀県代表、九州代表として  
全国大会に初めて臨みますが、  
観ている方を感動させられるよ  
うな演奏、演技を目指して、部  
員一同、練習に励んでいます。  
第四十五回マーチングバンド  
全国大会は十二月十六日、さい  
たまスーパーアリーナで開催さ  
れます。金賞受賞を目標に頑張  
りますので、佐賀県からの応援  
をよろしくお願いいたします。

## 成長してゆく姿への喜び

六角小P  
会長 廣橋 正人

六角小学校がある白石町は、  
農業が大変盛んで、特に玉ねぎ  
やお米は全国でも名が知れる程  
有名で、知っている方も多いか  
と思います。そんな農業が盛ん  
な場所にある六角小学校では毎  
年六月に田植え、十月に稲刈り、  
更には収穫したお米を使った須  
古ずし作りを五年生が体験実習  
として行っています。今回は、  
このような取り組みの中で子ど  
も達の心境の変化について紹介  
させていただきます。

梅雨にあたる六月。雨も多く  
予定通りに田植を行えるか不安  
の中、今年も天気にも恵まれ予  
定通りに田植を行いました。五  
年生の保護者の中にも農業をし  
ているところは多数ありますが、  
実際自らが田んぼの中に入って  
田植えを行う事は初めての子ど  
も達ばかりです。女の子は不安  
な気持ち、男の子はわくわくし  
た気持ちが見えていて分かり  
ました。JA職員さんによる田  
植えの仕方の説明になると、真  
剣な表情が変わった子ども達を  
見て立派な田植え体験になるだ  
ろうなと思いましたが、終わっ



てみると苗の列は曲がったり土  
の中に上手く入っていません  
りと苦笑いをする結果に。  
十月の稲刈りは手刈り体験で、  
初めのうちは笑い声が聞こえて  
いますが、徐々に無口になり終  
わる頃になると「きつかい」と  
声を上げる子ども達が出てくる  
中で、「米作りってこんなに大変  
とは思ってなかった。毎日食べ  
てる米だけど粗末にしたらいか  
んね」という会話が毎年必ず出  
ています。  
田植え、稲刈りと米作りの一  
連を体験した事で、物作りの大  
変さ、そして大切さを子ども達  
はちゃんと学ぶ事ができ、確実  
に成長してくれています。苦勞  
して作ったお米を使った須古ず  
し作りをする事を子ども達も  
ちろんの事、保護者も大変楽し  
みにしています。

から男子が卓球、女子はソフト  
テニスに熱心に打ち込むよう  
になり今では県内でも強豪校と注  
目されるようになりました。

卓球では三月に開催された、  
全国中学選抜卓球大会に十数年  
ぶりに出場することができまし  
た。予選リーグで、惜しくも敗  
れましたが、佐賀県代表とし  
て素晴らしいプレーができた  
。毎年出場条件を満たす人数  
の確保に悩まされていたので、  
子ども達は勿論、保護者、先生  
方地域の方々も喜んでくださ  
いました。  
ソフトテニスでは、個人戦で

県大会二位、九州大会三位と見  
事な活躍でした。全国大会は一  
回戦で敗れたものの、ベスト8  
に入った和歌山県のペアにマッ  
チポイントを先に二本取る、手  
に汗握る大接戦を演じました。  
小学生も三年生から、卓球、  
ソフトテニスを始めます。公式  
戦の相手はクラブチームですが、  
臆する事なく頑張っています。  
同じ体育館やコートで練習に励  
んでいるので、中学生の迫力あ  
るプレーに刺激を受けたり、中  
学生から技術面を指導したり、  
お互いに切磋琢磨する関係が伝  
統の強豪校を作り上げてきたと



思います。  
また、OBの方々も練習にき  
て下さるなど地域の皆さんの応  
援で小さな学校ではありますが、  
子ども達を先生、保護者、地域  
で今まで以上に盛り上げていき  
たいと思います。



## 合同研修会

県校長会県PTA連合会  
主題「親も子も ともに成長! ともに進化」  
平成二十九年九月八日(金) 於 グラウンズはがくれ

佐賀県小中学校校長会と佐賀県PTA連合会理事・母親委員の合同  
研修会を開催しました。  
小・中学校校長先生三〇名、佐賀県PTA連合会理事・母親委員三  
十二名、合計六十二名の参加でした。  
主題に沿って小・中学校別に校長先生より提言があり、地域と学校  
の連携を通じての学校づくりで成果をあげたことが報告されました。

小学校部会提言  
神埼市立神埼小学校  
校長 宮地 茂

中学校部会提言  
嬉野市立嬉野中学校  
校長 太田 公治

「SF青空プロジェクト」は、学校と  
PTAが連携することで福島の子  
ども達に青空の下で思いっきり遊  
ばせてやりたいという大プロジェ  
クトです。  
一、はじめに  
平成二四年度から五年間続いた  
「SF青空プロジェクト」は、学校と  
PTAが連携することで福島の子  
ども達に青空の下で思いっきり遊  
ばせてやりたいという大プロジェ  
クトです。  
二、取り組みの成果と課題  
〈成果〉  
同じ日本に住む仲間であり困つ  
たときはお互い様という助け合っ  
ていくことの大切さを学ぶことが  
できた。  
「復興支援」という受け止め方が  
回数を重ねる度に、「仲間作り」とい  
う意識に変化して、人との交流を通  
じて絆が生まれ、人との関わりの大  
切さを学ぶことができた。  
〈課題〉  
プロジェクトは昨年終了したが、  
これからも身近なところで助け  
合っていくこととする実践力を育て  
たり、ボランティア活動に進んで取  
り組んでいく。  
三、PTAの活動の一体化  
・吉田小中PTA一体化検討委員  
会を立ち上げ移行  
四、PTA活動と地域との連携  
①ふるさとに誇りをもたせる取組  
②未来に夢をもたせる取組  
五、終わりに  
〈成果〉  
・小中九ヶ年のスパンで、学校の  
教育活動・PTA活動を考える  
ようになり、表現力の育成も自  
分の考えなど伝える場を設定し  
たり、地域や異年齢間の交流で  
豊かな人間関係力を育む効果が  
出ている。  
〈課題〉  
・地区外にも体験や交流を増やし、  
人間関係力をつけ、少子化に対  
応する方策を今後も考える。







### 子育て応援メッセージ

## 子育て応援メッセージ

# 子育て応援メッセージ

# 子育て応援メッセージ

# 子育て応援メッセージ

「つながる」元気にあそぼう！笑顔でね  
 「育もう」食卓でつくる 家族の絆  
 「受けとめよう」子どもの心 メッセージ

私には、中三の娘と小六の息子がいます。我が家は六人家族で、日頃よく会話をしています。娘や息子が、好きなことをよく話してくれます。娘はイラストや佐賀県の歴史に音楽、息子はゲームや動画の話。私は話していることがわかるように、好きなことを合せています。

常にコミュニケーションを取っているのですが、まわりから「仲がいいですね。」と言われたり、娘と一緒に「姉妹ですか？」と言われたことがあります。会話もボケとツッコミなので、いつも楽しく話しています。

来年限は高校、息子は中学に入学します。娘はイラストレーター、息子はゲームクリエイターという夢を持っています。夢が叶うように、親として、応援していこうと思います。

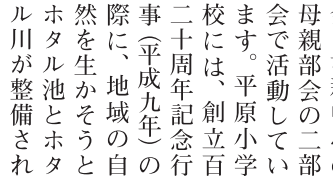
子育ては、大変。でも、日頃から子どもと一緒に楽しみながら、子どもは育っていくものです。

三根東小P 中川原裕美

「伝えよう」感謝の気持ち ありがとう  
 「見守ろう」地域ぐるみで 輪になって  
 「話し合おう」ルールを守って 情報モラル

私が役員をするようになって、十四年目になります。大きな役もあり大変ですが、今しか出来ないとの思いで頑張っています。自分が先輩ママにして貰って、あげられた事に自分も行動してあげられるように、常に考えて行動しています。子育てを頑張っているお母さん達を応援すると同時に、今後、子育てがしやすくなるように変えていきたいです。子育て応援メッセージの中に、受け止めよう子どもの心によりそってとありますが、なかなか難しい時があります。私が長年続けている事があって、毎朝、子ども達が登校している時間に洗濯物を外に干すことです。暑い時も寒い時も。干した凍る時もあります。子ども達は真夏も真冬も歩いて登下校しているの、少しでも同じ気持ちになれるようにとずっと続けています。子ども達の心に少しはよりそえていると信じて。

佐志中P 石山 恵美



### 北茂安小学校のPTA活動

北茂安小P 会長 最所 正和

「北茂安」という地名は、戦国の武将であり、治山治水などの土木事業にも数多くの優れた業績を遺した「成富兵庫茂安」に由来しています。

遠く北方に脊振山地を仰ぎ、町の東から南側にかけて九州を代表する大河「筑後川」に接するこの地は、緩やかな丘陵地と肥沃な平地に恵まれ、農業が盛んで、主に米麦・大豆等の産地です。その農業を通じての農業体験、六月頃には田植え、十月頃には稲刈りと、五年生を対象に体験学習を行っています。

又、十二月頃には、その収穫したお米を使つての餅つき会など

### 平原小学校のPTA活動

平原小P 会長 稲毛 慎吾

浜玉町の山間部に位置し、果樹園や森林に囲まれた自然豊かな本校。全校児童五十名と小さな学校ですが、児童はみんな実りの秋を迎えた林檎や梨のように生き生きと輝いて生活しています。そんな平原小PTAは、本部役員が全員男性で父親パワーを中心として活動を進めています。年に数度の除草や木の伐採作業の実施。地域と一体となった校区民運動会の運営などを中心に、父親中心の保体部

会、母親中心の保体部、母親部会の二部会で活動しています。平原小学校には、創立百二十周年記念行事(平成九年)の際に、地域の自然を生かそうとホタル池とホタル川が整備され

ど保護者皆様、地域の方々のご協力を頂き毎年体験学習を行っています。

今後は、大豆を使つての「みそ」[しょうゆ]作りの体験学習をPTA事業に取り組みたいと思っております。

今年度より、毎年、一年生の保護者の皆様に対象に行つていた給食試食会を、全学年対象の給食参観日として行い、多くの保護者の皆様に参加して頂きました。

夏休み中には、毎年恒例行事となった「親子ふれあい草取り作業」を行い、日頃の感謝の気持ちを込めて、校庭やグラウンド等の除草作業を行っています。

これからも、北茂安小学校PTAは、地域とのつながり、人とのつながりを大切に、子どもたちが、安心して笑顔あふれる学校生活が出来るように、「学校」「保護者」「地域の皆様」と三位一体で連携して取り組んでいきたいと思っております。

### 特色ある単Pの活動

～三養基郡・唐津地区編～ Vol.49

ていいます。当時は、熱心な取り組みが行われ見学者もあつたと聞いています。しかし、月日の経過とともに取り組みも薄れ、運動場の横に雑草地帯のように放置されてしまつていました。そこで、昨年度から運動場を中心としていた除草作業をホタル池、ホタル川周辺に拡充し、昨年度は茂つていた樹木の伐採を行い、今年度は、ホタル川を埋め尽くしていた草を取り除きました。それでも、長年堆積した泥やヘドロが川を埋め尽くしていた状態でした。すると、四年生以上の児童がボランティアで昼休みを利用してホタル川の清掃を買つて出てくれました。約二週間、毎日泥にまみれながら



活動し、作られた当時は思い出すきれいな川にしてくれました。さらに、五年生が中心となり全校児童で孵化させたメダカの稚魚を放流し、ホタル池、ホタル川の景観をよりよくしてくれました。保護者には、平原小学校卒業生も多くいます。今PTAと協力して児童がホタル池、ホタル川を復活できたことを本当に嬉しく思います。児童が自然豊かなこの平原地区を誇りに思い、これからは自分の母校を大切にしている児童であり続けてほしいと思つています。これからも人数は少なくてもふるさと大好き、学校大好き、児童が大好きなPTAとして活動したいと思います。



持ちを込めて、校庭やグラウンド等の除草作業を行っています。

これからも、北茂安小学校PTAは、地域とのつながり、人とのつながりを大切に、子どもたちが、安心して笑顔あふれる学校生活が出来るように、「学校」「保護者」「地域の皆様」と三位一体で連携して取り組んでいきたいと思っております。



## 佐賀県PTA連合会推薦 小中学生総合保障制度(こども総合保険)について

### お子様を取り巻く様々なリスクに対応します。

- 学校内はもちろん、放課後の遊戯中・クラブ活動中や休日のレジャー中の事故など様々なケガを補償します。
- 他人にケガを負わせたり、他人のものを壊したりして法律上の損害賠償責任が生じた場合に補償します。所定の条件を満たした場合、借り物の損害も補償します。ご家族の方も対象です。








※保険商品の概要を説明したものです。詳細につきましては取扱代理店にお問い合わせください。

○制度に関するお問い合わせ先: **0120-228-553** 佐賀県PTA連合会保障制度事務局(取扱代理店:株式会社コーリン) 受付時間:平日午前9時~午後5時(土・日・祝日、年末年始を除く。)

○制度引受保険会社: AIU損害保険株式会社 東京海上日動火災保険株式会社 損害保険ジャパン日本興亜株式会社 三井住友海上火災保険株式会社 2017年4月現在の内容です。

承認番号 A-000744 2018-03